



調査レポート

本会社アンケートによる県内経済動向

【調査の概要】
 平成25年1月31日時点調査（郵送法）
 調査対象 県内1,000社
 回答企業 392社（回答率 39.2%）

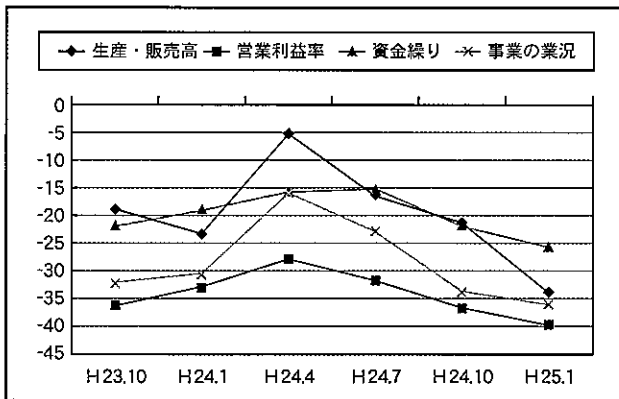
～現況厳しいが、先行きに期待感高まる～

【全産業DI値】（表1・表2）

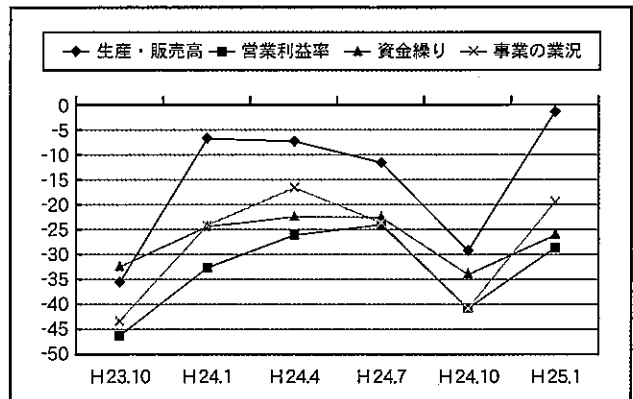
山形県全体のDI値（※）の前年同月比推移をみると前回調査に引き続き、生産・販売高、営業利益、資金繰り、事業の業況の全ての項目で下方傾向となり、現状は厳しいこがうかえる。生産・販売高（H24.10調査▲21.0→今回調査▲34.2）、営業利益率（▲37.2→▲40.0）、資金繰り（▲21.5→▲25.6）、事業の業況（▲34.2→▲36.0）。

3ヶ月先見通しDI値（表2）においては、生産・販売高、営業利益、資金繰り、事業の業況の全ての項目で上方傾向となり、先行きについては上向きな見方となっている。生産・販売高（H24.10調査▲29.7→今回調査▲1.1）、営業利益率（▲40.8→▲28.7）、資金繰り（▲33.6→▲26.1）、事業の業況（▲40.9→▲19.4）。

【表1－県計前年同月比DI値の推移】



【表2－3ヶ月先見通しDI値の推移】



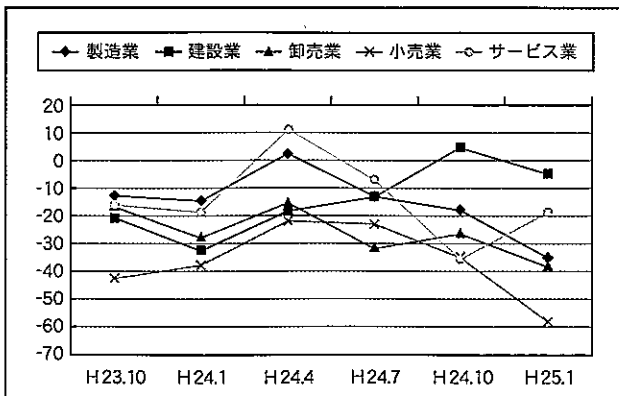
【産業別DI値】（表3・表4）

生産・販売高の前年同月比DI値を業種別推移でみると、サービス業で上方傾向を示したが、製造業、建設業、卸売業、小売業では下方傾向を示している。（製造業：H24.10調査▲18.9→今回調査▲35.7、建設業4.3→▲4.7、卸売業▲26.5→▲37.9、小売業▲33.3→▲58.7、サービス業▲34.9→▲19.1）。

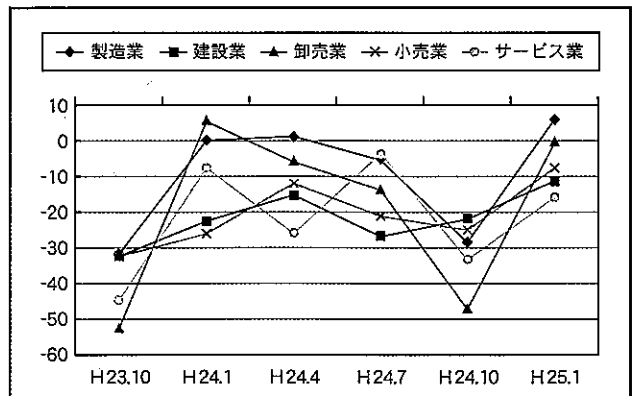
3ヶ月先見通しDI値については、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業のすべての業種で上方傾向を示しており、明るい見方をしている企業が多い結果となっている。（製造業：H24.10調査▲29.1→6.5、建設業▲21.7→▲11.6、卸売業▲47.0→0.0、小売業▲24.9→▲8.0、サービス業▲34.1→▲14.9）

海外経済の低迷や隣国との関係悪化に伴う経済活動への悪影響などの不安材料はあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要や、円安、株価上昇、新政権の積極的な景気対策により景気回復への期待感が高まっていると考えられる。

【表3－業種別生産・販売高前年比DI値の推移】



【表4－業種別生産・販売高3ヶ月先見通しDI値の推移】



（※）DI値：「増加」とした企業の割合から「減少」とした割合を差し引いた指数